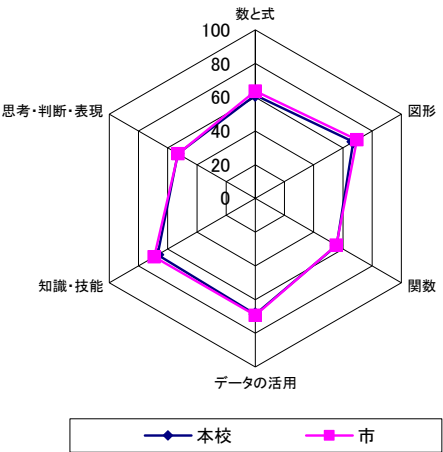


宇都宮市立陽西中学校 第3学年【数学】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	数と式	61.3	63.7	61.5
	図形	67.1	69.6	61.1
	関数	55.7	55.4	43.5
	データの活用	68.7	69.3	64.2
観点別	知識・技能	66.9	69.2	65.3
	思考・判断・表現	53.2	52.9	42.1

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と式	市の平均正答率と比較し、2.4ポイント低くなっている。しかし、全国学力・学習状況調査(4.1ポイント低い)に比べて、差は小さくなっている。 ●正負の数を利用した平均について説明することが課題に挙げられる。	・授業中に、計算問題を繰り返し解く時間を設けて、定着を図る。 ・説明する問題に触れる機会を増やし、問題を解く手順を丁寧に扱うと共に、何を求めて、何を答えるのかを明確に捉えることができるように援助し、生徒の理解度を高めていく。
図形	市の平均と比較し、2.5ポイント下回っている。 ●平面図形と証明のどちらも市平均を下回っている。特に、平面図形での差が大きい。	・図形の分野では、具体物を提示したり、実際に図形を移動させたりして、生徒の思考を支援していく。 ・問題を解く中で、基礎的な知識の理解を深め、それを応用するため視点や要点に気付くことができるように支援していく。
関数	市の平均と比較し、0.3ポイント上回っている。 ○座標やグラフに関係する問題の正答率は市の平均を上回っている。 ●式に表す問題では、比例・1次関数、関数 $y=ax^2$ ともに下回っている。	・表・式・グラフの関連についてより詳しく取り扱い、理解を深めていく。特に、表から式をつくる問題に多く触れさせたい。また、論理的に考える問題や必要な値を求め、それを活用していく問題にも触れる機会を増やし、思考力や理解度を高めていく。
データの活用	市の平均を0.6ポイント下回っている。 ○ヒストグラムからの読み取り・特徴を説明することについては、市の平均を上回っている。 ●箱ひげ図からデータの分析を読み取ることができる問題については、4.7ポイント下回っている。	・箱ひげ図をかいたり、箱ひげ図を用いたりする問題の練習の機会を増やしていく。 ・学習した語句を使って説明する問題を練習する機会を増やし、思考力や理解力を高めていく。